

不祥事根絶に向けた取組

ひたちなか市立大島中学校

教職員による不祥事は、本校のみならず全県の学校教育への信頼を著しく低下させることとなります。特に、在校生徒のみならず、本校を信頼してお子さんを預けてくださっている保護者様の信頼を根底から裏切ることとなり、その影響は計り知れません。そのため、なんとしても不祥事は根絶しなければなりません。そこで、本校では不祥事根絶に向けたコンプライアンスと厳正な校務執行のための教職員の意識改革や職場風土の改革をすべく、下記のように取り組んでいます。

記

1 【事例研修会の実施】

教職員の不祥事関連の通知文や記事等を利用し、様々な事例を職員全体で共有しています。不祥事の内容と対象職員の処分内容等について、教職員が自分ごとや自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や研修会で考え話し合い、未然防止につなげています。

2 【個人面談の実施】

個人面談を重視し、管理職と教職員との面談により、教職員の悩み等の聞き取りを行い、職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の遠因にならないよう、日頃の面談を通して、解決法の助言や、悩みごとの相談に応じるなど、きめ細かに教職員を支援しています。また、悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しの良い職場風土づくりを心がけています。

3 【ボトムアップ研修会の実施】

コンプライアンス・不祥事根絶をテーマとして、全員参加型の校内研修を定期的実施しています。不祥事根絶は、わいせつ防止、セクハラ防止、体罰防止、盗撮防止、公金の不適切な処理の防止、飲酒運転の防止、情報漏洩の防止、交通事故の防止等多岐にわたります。これらの各事案について、ボトムアップ式の研修会として、担当者を決め、グループ討議やロールプレイ等の手法を取り入れるなど、具体的な防止策を互いに提案するなどして取り組んでいます。

4 【定期点検の実施】

不祥事根絶のため、不祥事ごとのチェックリストを作成し、個人用・組織内での点検を定期的に行っています。不祥事の原因は何か。また、自分の行動や意識に問題は無いかなどを明確に把握するために実施しています。これらを教職員が自分自身でチェックすることで、自己啓発をすると同時に、管理職に提出し、ダブルチェックすることで未然防止につなげています。

今後も、大島中学校の教職員が一丸となって不祥事根絶に取り組んで参ります。また、自分が勤務している学校から絶対に不祥事が起きないように、教職員一人一人が更に自覚と意識を高めて参ります。